

世代別・職業別タウンミーティング(要約)

テーマ：学生の視点で松山市を考える

平成29年7月21日（金曜日）

【市長】 皆さん、こんにちは。私が市長に就任させていただいたのは平成22年11月ですが、当初からこのようなタウンミーティングをしようと考えていました。どちらが楽かという話をすると、市役所で皆さんが来られるのを待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。市役所で待っているのではなく、私たちのほうから出向いて行こうとタウンミーティングを始めました。松山市は、旧松山市・旧北条市・旧中島町を合わせて、41地区あります。各地区には魅力もあれば課題もあるので、「魅力は伸ばす、課題は減らす」というのが、このタウンミーティングです。タウンミーティングでは、皆さんの質問や要望に対して、できるだけここでお答えします。財政的によく考えなければならないものや、国や県に関係する案件は、いい加減な返事をして帰るわけにはいかないので、いったん持ち帰り、検討した結果を1カ月を目途にご報告させていただき、「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」というタウンミーティングをしています。市長の任期は1期が4年間の48カ月で、41地区ですから、1カ月に1回のペースで回っていかうと考えていましたが、おかげさまで大変好評でして、1期目の任期中に41地区を2巡しました。2期目に入らせていただいて、地区別に加えて、世代別のタウンミーティングも始めました。子育て世代の方、高齢者の方、大学生や専門学校生との世代別タウンミーティングをさせていただきました。松山市には、大学や専門学校に通っている人が2万人もいます。52万人の市民の中で2万人の声を反映できるかできないかでは大きな違いになりますので、現在、大学生や専門学校生の世代とタウンミーティングをしています。これまでに愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学、河原学園とタウンミーティングをさせていただき、今回は愛媛学園さんとさせていただきます。学園長をはじめ、学校関係者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。今日は皆さんの声を聞かせてください。あまり肩肘張らずにざっくばらんな意見交換ができればと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

【司会】 それでは、テーマ趣旨について市長からご説明いたします。

【市長】 それでは、前のスクリーンを見ていただいたらと思います。愛媛学園さんにご相談させていただく中で、本日のテーマを「学生の視点で

松山市を考える」にさせていただきました。先ほど申し上げたとおり、松山市には、4年制の大学が四つと短期大学が三つ、専門学校がおよそ20あります。松山市の人口52万人のうち、2万人が学生さんです。松山市はいろいろな宝がありますが、学生さんの数が多いのも一つの宝です。こうした利点を生かそうと、昨年度から、次世代を担う子どもや若者のグループからのまちづくり提案に対して、補助金を交付する制度をスタートさせました。子どもや若者のアイデアによるまちづくり活動を応援しようというものです。このまちづくり提案は、松山市にとって、いい提案かどうかを子どもや学生さんにも審査してもらっています。そして、民間と行政が一緒になって提案を実現していきましようということで、市のお金と寄付が財源になっています。今年度は六つの団体に補助金を出すことが決まりました。このような制度を設けたほど、私たちは皆さんの声を反映していきたいです。私はもうすぐ50歳になります。今、男性の平均寿命が80歳、女性は86歳といわれていて、平均寿命からすると、私はあと30年しか生きられません。例えば、皆さんが20歳とするならば、男性だとあと60年、女性だと66年活動できるわけです。皆さんのほうがこれから長い時間、松山や愛媛、日本、ふるさとで過ごすわけですから、皆さんの声をできるだけ反映していくほうがいいまちづくりができると思っています。皆さんの声を反映していきたいと思っていますので、今日のテーマを「学生の視点で松山市を考える」にさせていただきました。よろしくお願ひします。

【女性】 私が松山市を歩いたり、運転したりする際、路上駐車されていて危ないと思うときがありますが、何か対策をしていただけませんか。

【都市・交通計画課長】 皆さん、初めまして。都市・交通計画課長の石井です。私の仕事の分野は、道路をつくったりすること、公園のこと、公共交通の利用促進や交通安全のことなどです。路上駐車が多い地区は、二番町から三番町の街中だと思います。そこは警察と協力して、重点取り締まり地区としています。勝山通りも以前は停車している車が多かったと思いますが、ここも駐車違反が多いという意見がありましたので、警察と連携してこの何カ月間か取り締まりを強化すると、駐車違反がものすごく減りました。ですから、「特にここは路上駐車が多い」といった情報を都市・交通計画課に伝えてもらったなら、対応をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

【市長】 タウンミーティングが終わって、私たちはさっと帰るわけではありません。住宅地図を持ってきていますので、「ここ、路上駐車が多く

て気になる」など場所を教えていただいたら、我々から警察に連絡することもできます。道路でいうと、国道は国が管理しています。そして、県道もあって、県道は県が管理している道路です。市道は松山市が管理している道路です。「わたくしみち」と書く私道もあって、個人が管理している道路です。そして、農道もあります。皆さん、国道、県道、市道、私道、農道がある中で、どこがどこの道かわからないでしょう。国道11号や国道33号のように小さい数字だとわかりやすいですが、三津のほうにある国道437号のように大きい数字になったらなかなかかわからないですよ。このタウンミーティングで道路のことを言っていたら、国のことだと国につながりますし、県のことだと県に伝えますので、遠慮なく言ってください。それと、もし道路に穴があったら、管理しているところが責任を持って対処します。「信号が青のときは通っていいですけど、赤のときは通っちゃいけませんよ」とか、「ここは50km/時しか出しちゃいけませんよ」という規制の話になると警察の仕事です。「学校の近くは30km/時以下にしましょう」というゾーン30もそうです。そういった話もここで言っていたら、我々から警察につながりますから、遠慮なく言ってください。

【男性】 最近20歳になり、夜に飲みに出ると、昼間はきれいな道なのに、夜はごみがポイ捨てされて、汚くなってしまっているところがあります。朝方になると、カラスが散らかしたりしています。掃除されている人もよく見ますが、それ以外に何か対策をしているのですか。

【環境モデル都市推進課長】 皆さん、こんにちは。環境モデル都市推進課長の松本と申します。カラス対策は全国的にも非常に難しい問題になっています。ご指摘いただいたように、松山市も年々カラスが増えていると言われています。やはり、ごみがカラスの餌になっていて、飲食店などの事業所から出るごみを適正に分別して、カラスがつかないような対策ができないか考えています。早朝や昼間に繁華街を中心に清掃パトロールをして、分別の仕方が悪い事業所にはその都度、注意をしています。それでも、一時的にすごくカラスが増えてしまう時期があり、今、来年に向けて何かカラス対策をできないか考えています。ちょっと面白い話をさせていただきますと、タカを飛ばすということがあります。タカは猛きん類で、カラスがタカを見ると非常におびえて飛び去ってしまうというのです。タカを飛ばしたり、カラスが嫌がる音を出したり、レーザーポインターをあてたりする取り組みをしている自治体が全国的にはあります。ただ、鳥獣保護法というものがあって、カラスを完全に駆除するのが難しく、どうし

でも一時的に追い払うだけになってしまいます。それらの方法が、対策として効果があるかどうかという判断も難しく、全国的に手探りでやっている中で、タカを飛ばすことを含めて、松山市も実験的に何かできないか考えているところです。

【市長】 行政としても、なんとかカラスのことは解決していきたいと思っています。カラスは夏にはあまりいないんです。冬のほうが多くなります。城山がカラスのねぐらになっていて、カラスのねぐらがまちに近いところにあるのは事実です。カラスがまちのごみをつつかないようにするためには、飲食業の方々がごみをポリタンクにきちんと入れてふたを閉めてくれると、カラスがつつかせません。ですから、飲食業の方々がごみを出す場合にルールやモラルを守った出し方をしていただくことが、このカラスの害の抑制につながっていくのかなと思います。例えば、ゴミ置き場にネットをかけて、できるだけカラスに悪さをされないように、皆さんでルールを守っていただくということです。また、街中には、とげがついている電線がありますが、カラスの害を避けるためにカラスをとまりにくくする電線です。それは、四国電力さんがしていますが、「カラスが多いな」というところを松山市に言ってもらったら、四国電力さんにもお願いすることもできます。また、ごみのポイ捨てに関連することですが、7月9日日曜日に市民大清掃がありました。ありがたいことに52万人の市民のうち、7万人が参加してくれています。市役所の前が開会式の場所で、私も当日の朝、一番町通りや二番町通りを掃除しました。平成22年に市長に就任させていただいて、毎年、市民大清掃に出ています。ごみは年々減っています。皆さんが、いろんな清掃イベントをしてくださっているので、ごみは確実に減っています。これが大事で、ごみが落ちていないと、なかなか捨てにくくなり、これが抑止力になるんです。こうやって清掃活動を続けていくことも大事ですし、モラルのことも大事です。ブローケンウィンドウ理論というのがあります。割れ窓理論というものですが、アメリカの犯罪を抑止する考え方です。割れた窓をほおっておくと、2個目、3個目の窓が割られることにつながっていくというもので、ごみが捨てられることにもつながっていき、犯罪の発生にもつながっていくので、小さなことから対処していくことが大事という考え方です。今、街中では、ごみを拾ったり、落書きを消したりしていますが、行政だけではなくて、みんなですべてやってくれていますので、覚えておいていただけたらと思います。

【男性】 私は高知県から松山に出てきていますが、その経験で言わせてもらいます。調理師科なので、自分たちがつくる料理は新鮮な野菜や鮮度

のいい魚を仕入れることが一番になってきます。でも、生徒だと業者の人とあまり関わりがないし、お店に買いに行くとしても、スーパーには市場ほど鮮度のいい食材もないし、種類もあまりないので、魚を専門にしたお店とかがあったらいいなと思います。高知にはひろめ市場がありますが、あんなふうに、海に近くて、いい野菜や魚を自分で見て買える場所が市内の中心部にあったら、行きやすいし、毎日通って自分の目利きの技能を鍛えたりできるかなと思います。

【市長】 ひろめ市場、いいですね。商店街に近いところに市場があって、カツオのタタキ、わら焼きもあり、私も何度か行ったことがあります。松山市の計画として、三津に市場があり、三津の朝市がありますが、あそこの魚の魅力を上げていきたいと思っています。例えば、下関の市場の横に、地元の方でも観光客の方でも買い物ができる場所がありますが、松山市もそういった形を目指しています。いきなり大規模な市場施設をつくるよりも、三津浜地区の魚の魅力をもっと上げていって、また、三津浜地区の商店街の魅力をもっと上げてから大きい施設をつくったほうが成功しやすいので、そういう形で進めていきたいと思っています。もともと、文化は海から入ってきていたので、三津の商店街には古い町並みが結構残っています。古くていい町並みがあるので、空き店舗と借りたい人をマッチングする拠点施設、三津浜の魅力にハマってもらいましょうということで「三津ハマル」という施設をつくりました。今、合計で19店舗、空き店舗が変わってきています。新しいお店が出てきて、三津の商店街の魅力がアップしてきました。魚の魅力でいうと、7月に5回、シーフードバーベキューを市場でしていますが、定員250人の席が、すぐに売り切れるくらい魚の魅力も上がってきています。高知県でのひろめ市場の成功例もよく見えていますから、いきなりつくってしまうのではなくて、少しずつ階段を上っていくようにやっていけたらと思っています。私が知っているのは、銀天街の角のぎんこい市場とまつちかタウンの愛南町の品々が集まったお店が、市内中心部では産直市のようなところになると思います。カフェ科の方、製菓・製パン科の方、調理師科の方、愛媛学園さんには食に関する勉強をされている方がたくさんいらっしゃいますが、例えば、ワンコイン、500円で幸せを与えることができるのが、食の世界だと思っています。人にもものすごく幸せを与えられる分野の仕事なので、皆さん頑張っていていただけたらと思います。

【男性】 平日に産直市みたいな感じでいろいろ提供してくれる機会があるのは知っていて、学校がたまに休みのときや夏休みにちらっと見かける

ことがありました。ただ、平日というのが、学生には行きづらいと思います。僕は、八幡浜市出身ですが、毎月8日に市場をやっています。土曜日や休日に産直市みたいなのをやっていただけたら、僕たち学生も行きやすいと思いました。

【地域経済課長】 地域経済課の宇野です。今おっしゃったのは三越の前でされているマルシェですか。おそらく平日に定期的に行っているのは、きっと土日になると通行量が多くなるからだと思います。市内中心部は、高齢者の方などの中心回帰が起こっているのも、これからは健康志向で新鮮な野菜などの需要も出てくると思っています。三越の前で定期的に行っているマルシェや、ぎんこい市場とかまつちかタウン、そのほかにもアーバンデザインセンターの広場で月に1度マルシェをしています。ボランティアでやっている人の話を聞いてみると、採算が合わないという声もあります。それでも、一定の需要があると思っていますので、例えば、松山市の助成制度で、空き店舗を利用して市場やマルシェをできるように支援をしていきたいなと思っています。

【市長】 松山市が補助を出して、空き店舗を減らしてお店を増やして、大街道や銀天街、まつちかタウン、このあたりの中心商店街を活性化していきたいと思っています。皆さんが手に職をつけて、お店を出すときに、松山市にはそういう補助制度がありますので、利用いただけたらと思います。松山の商店街の空き店舗率は、全国のほかの市からすると健闘していて、全国にはもっと空き店舗が多い商店街があります。大街道や銀天街に行くとアーケードがありますが、アーケードがあるということは、夏暑くても快適に買い物ができ、冬寒くても快適に買い物ができます。雨や雪が降っても快適に買い物ができます。お城も近いですし、オフィスも近いです。今、中心市街地を大事にしようという取り組みを進めていて、松山市の将来の方向性からしても大事なことでと思っています。皆さんがお店を出すようなころにも、まだ中心市街地を大事にした取り組みをしていると思いますので、覚えておいてもらえたらと思います。

【男性】 自分が考える「暮らしやすいまち・魅力あるまち」は、不安が少ないまちだと思います。みんな忘れがちですが、南海トラフ地震のことや洪水、大雨、土砂崩れのような予期せぬ災害があります。自分の話ですが、親はたくさんのお酒を飲んでいる状態で、ペットもたくさん飼っていますが、自分は県外に就職を考えているので、地震があったときは、もしかしたら近くにいないかもしれません。そういうときに、市はどのようにペットや医療、仕事場を失った人たちへの補助を考えているのかなと思います。

質問させてもらいます。

【市民部長】 市民部長の唐崎と申します。最近では、九州で大雨があり、熊本の地震や東北の地震など、今までこういうところで起こるだろうと思われていなかったようなところで災害は起こっています。その上で、南海トラフ地震は、かなりの確率で起こるだろうといわれています。松山市では、以前から災害が起こったときには、どのような対応をするかを消防だけではなく、危機管理担当部を新設し、すぐに対応できるような体制を組織的に組んでいます。それから、さまざまな備蓄も進めています。備蓄については、各地区に分散して行っています。災害に対する準備は、被災地に応援に行つて学んだ教訓も含めて、その事例にあわせて、マニュアルを随時改訂しながら、どういったことをして備えておくのがベストなのかを常に考えています。安心してくださいますとまでは言えませんが準備は怠らずしています。

【市長】 公で助けるという「公助」という言葉と、自ら助けるという「自助」という言葉、そして、共に助けるという「共助」という言葉があります。公で助ける部分は、消防職員や救急隊員になりますが、大きい規模で災害が起こった場合、一生懸命頑張りますけれど、皆さんのところに助けに行くのには時間がかかってしまいます。ですから、今、松山市では、自分で助けるところの能力を上げる、共に助けるところの能力を上げるということをお願いしています。防災士という資格があり、その資格を持った方が避難所の運営をしますが、たくさんの方が避難してきたときに、避難所で朝起きて知らない男の人が横に寝ていたら嫌ですよ。ちゃんと男性と女性を分けておく配慮も大事になります。病気の方もいますが、病気の方は別のところにいさせてあげるほうがいいですよ。ペットはペットで、動物のアレルギーの方もいらっしゃるかもしれませんから、比較的近いところで別のところに避難させてあげることが大事でしょう。そういった避難所の運営ができる防災士を、松山市では、公費を使わせていただいて育成しています。今、松山市は、防災士の数が全国の自治体別でトップです。3,800人ぐらいいます。2、3、4、5番には、大分市、仙台市、高知市、横浜市が挙げられますけれども、横浜や仙台の規模からしても、松山市はものすごく防災士が多いです。救急の知識も持っている防災士を育成しているのが松山の特徴的な取り組みです。この「まつやま防災マップ」を見たことがあるという人は手を挙げてください。全戸配布なのですべてのご家庭に配られているはずですが、なかったらお渡しできますので言ってください。これは絶対に持っていてもらいたいです。家で、家具固定している人は手を挙げてください。1週間分の備蓄をしていますよという人

は手を挙げてください。自助を上げていくことが大事です。「じゃあ、市長、何を備蓄すればいいですか」というのは、防災マップの中に書いていますので参考にしてください。「松山市では、備蓄していないのか」と思われるかもしれませんが、野球場の坊っちゃんスタジアムの下や市内各地に分散して、水とか食料などを備蓄しています。皆さんも大きな災害のときに、並んで避難物資を配られているところを見るでしょう。公の物資をお配りするときには、公平性という観点から並んでいただかないといけなくなるんです。でも、お手数ですけど、皆さんが各自で1週間分の備蓄をしていただけたら、並ばなくても好みのものが手に入ることになります。私が防災士の資格を取ったときに勉強させてもらいましたが、家のたんすは、多分中身をのけて、大人二人でやっと持てるぐらいの重さだと思います。そんな重いタンスが震度7ぐらいになったら、倒れてくるか飛んでくるかのように動いてきます。足に当たったら足の骨が折れます。手に当たったら手の骨が折れます。当たりどころが悪かったら死ぬこともあります。当たらなくても、タンスが倒れたら逃げ道がなくなるんです。だから、固定をしてくださいとお願いしています。松山市としては、やるべきことをしっかりと、公助の部分を上げていきますが、ぜひとも皆さんには、正しく恐れてしっかり備えるということをお願いしたいと思います。最後に、薬を服用されている方や医療を必要とされている方は、福祉避難所が別に設けられる形になります。

【女性】 お話の途中ですが、私たちカフェ科がつくったカフェラテがあるので、ぜひ飲んでください。

【市長】 ありがとうございます。ちょうだいします。学園祭に来させていただいて、本当に恵まれた環境の中で皆さん勉強しているなと思いました。引き続き、要望や質問があればお願いします。

【男性】 松山はお茶が盛んだと聞きました。それならば、お茶に合う和菓子をアピールするようなイベントを開催していただけないでしょうか。そうすれば、若い人たちにも和の文化を広めることができますし、そういったイベントに私たちのような製菓・カフェ・調理などの学校が参加できれば、私たちの技術の向上にもなりますし、実践経験の一つとしていい経験ができるのではないかと思います。

【市長】 ご出身はどちらですか。

【男性】 西予市の宇和町です。

【市長】 もともと松山出身という人は手を挙げてください。ありがとう

ございます。道後にお菓子の神様があるのを知っていますか。何で知っているんですか。

【女性】 先生に教えてもらいました。

【市長】 中嶋神社に行きましたか。

【女性】 行きました。

【市長】 どうでしたか。

【女性】 私は四国中央市出身で全然知らなかったのですが、そういうのもPRできるポイントだと思いました。もっとPRしていただいたらいいなと思います。

【市長】 実は、道後には伊佐爾波（いさにわ）神社という有名な神社があります。中嶋神社は伊佐爾波神社と神主さんが一緒だったと記憶しています。中嶋神社はお菓子の神様を祭った神社です。昔、松山では、お菓子メーカーさんのコマーシャルでこの中嶋神社がずっと出ていたので、松山に昔から住んでいる方は知っている方が多いのですが、今、そのコマーシャルは流れなくなったので、お菓子の神様のことを知っている方が少なくなってきたと思います。これも松山の宝ですが、城下町だからお茶の文化が発展しているんです。松山は、城下町で、侍がいたから能の文化も発展して、お茶の文化も発展してきました。お茶の文化が発展したから、お茶菓子もということはありません。どこにでもそういう宝があるわけではないので大事にしたいと思います。私も愛媛学園の学園祭に来させていただいて、皆さんが和菓子もつくっているし、洋菓子もつくっているのを見たことがあります。まだ若いのにこんなにできるんだと感心したことがあります。そういう専門学校だからこそ、例えば、中嶋神社さんと一緒になって、イベントができたらいいですよね。行政がすべきことと、民間の皆さんがすべきことと、行政と民間が力を合わせてやったらいいことの三つに分かれると思うんです。できたら、神社さんとお菓子づくりを学んでいる専門学校の皆さんが組んでイベントができるとおもしろいなと思います。そのために「市が手助けしてよ」と言われたらもちろん手助けします。せっかく松山にあるので、うまく一緒になってできたらいいですね。

【男性】 私は毎日大洲から通っています。松山の様子を見てみると、最近、道を尋ねている外国人観光客をよく見かけます。英語があまり得意じゃなくて、うまく案内してあげられなかったり、案内できないことでお互いが嫌な気持ちになったりしたことがあるので、松山の観光地を英語で案内できる場所や公式サイトなどがあれば便利なのではないかと思います。

【地域経済課長】 道後温泉や松山城などの主要な観光施設では、英語や

中国語の繁体字と簡体字、韓国語の4ヵ国語を併記した案内看板や、スマートフォンなどで撮ると、4ヵ国語が出てくるQRコードを整備し、外国の方への配慮をさせていただいています。それから、中央商店街やロープウェー商店街の皆さんが独自に市の補助金を使いながら、外国人向けの対応を始めています。公式サイトとしては、松山市のウェブサイトがあり、4ヵ国語対応になっています。「松山 観光 外国語」と入力して検索するとそのサイトにつながると思いますので、一度ご覧になってください。

【市長】 ちょっと今やってみましょうか。これは松山市のホームページです。皆さんヤフーを使うことが多いかと思しますので、ヤフーで検索してみましょうか。「松山 観光 外国語」と入力して、検索してみましよう。一番上に「松山市観光ガイド 松山市ホームページ」が出てきました。これは最近、そのようなお声があるのでつくらせていただきました。「松山市公式観光WEBサイト」をクリックします。言語は、英語、韓国語、中国語の繁体字と簡体字があります。各言語でモデルコースを見ることもできます。このように外国語対応を増やしてきているところです。これを見たくても見られなかったらいけないので、松山市は街中に無料でWi-Fiが使える拠点を増やしているところです。松山市の取り組みをわかりやすく話します。松山には中国や韓国、台湾から来られる方が多いです。台湾にも松山という地名があり、そういったことをゆかりにして、人口270万人を超える台湾の首都台北市と松山市は協定を結んでいて、今、台湾からのお客さんがものすごく増えています。欧米のお客さんにも来てほしいですね。全国平均では、外国人観光客の7割がアジア系で、欧米からは3割です。広島には原爆ドームや安芸の宮島があり、割合が逆転します。広島への外国人観光客の7割は欧米からで、アジア系は3割です。松山と広島はスーパージェットという船で68分です。毎日1時間から1時間半に1便あって、欧米からの観光客も来やすいということで、民間の会社と組んで、安い切符を販売してもらうようにして外国人観光客が増えてきているという現状です。英語が苦手と言われるかもしれませんが、中学校や高校で勉強していますから、しゃべれないようで案外しゃべれます。難しいことを求めているわけではないので、ちょっとでも対応してあげると優しい気持ちは伝わると思いますから、頑張っって案内してみてください。

【男性】 路面電車を使う機会があり、勝山町駅を利用しています。勝山町駅の乗り場は、他の路面電車の駅に比べてコンクリートが割れていたり、横断歩道に近いところはひびが入って完全に崩れたりしていて、少し危ないと感じています。フェンスもさびていて、折れることはあまりないと思

いますが、危ないと思って意見を述べさせていただきました。

【都市・交通計画課長】 近年の路面電車の停留所は、車いすの方を考えると最低でも幅は1.5m以上必要です。今の勝山町駅の幅では車いすの方が通れません。大街道駅は幅が1.5mあり、スロープと誘導ブロックがあります。勝山町駅の配置を見ると、道路幅が全体的に狭いので、停留所を広げてスロープをつけることも土地の関係で難しいところがあります。伊予鉄道さんと私たちも一緒に現地を見てどうにかならないか協議はしていますが、なかなかいい方策が見つかりません。折れそうなフェンスやひびが入っているコンクリートは応急的な措置はできると思いますが、抜本的な対策はもう少し時間をいただくようになると思います。

【市長】 路面電車は松山市ではなく、伊予鉄道株式会社さんという会社が営んでいます。要は会社のご判断になります。今は、新しい駅をつくるならバリアフリーが基本的な考え方になります。ですから、幅があるところはバリアフリーの停留所になりますが、幅がないところは難しいです。今、郊外電車の駅はバリアフリー化を進めています。車いすでも入りやすいように、バスが入ってきて電車に乗り換えやすいように、タクシーや自家用車も入ってきて電車に乗りやすいようにしています。でも、勝山町駅は道の幅のこともあって難しいですが、状態を教えてくださいましたので、伊予鉄道さんにもそういうお声があったことを伝えようと思います。

【男性】 今までのタウンミーティングでも出たことのある意見だとは思いますが、まちの中心部から離れるにつれて街灯が少なくなって、ちょっと暗くなっています。ただ単に街灯を増やせばいいというわけでもなく、近所には外が明るいと感じるという人もいると思うので、いろいろと考えることもあると思うのですが、縁石に沿うように足元を照らすなど、明るい町並みをつくれるような対策はできないかなと思います。

【市民部長】 街灯には、道路を照らす道路照明と、家の近辺や角を明るくする防犯灯の2種類があります。道路照明については都市・交通計画課長から、防犯灯については私からお答えさせていただきます。松山市の制度を説明しますと、防犯灯は、松山市防犯協会を通じて各町内会などに補助金を出して、それぞれで設置や交換をしている状況です。電気代などの維持管理も各町内会などで負担していただいています。松山市は費用を負担していますが、防犯灯は各地域の持ち物という考え方です。防犯灯をつける、つけない、ここにつけるなどといった判断は各町内会にお任せしています。各町内会が基準を設けて、電気代を負担しています。各町内会でやっているものではありませんが、このあたりが暗いということでしたら、

このタウンミーティングが終わった後で、具体的な場所をお知らせください。私どものほうから町内会に設置できないだろうかという話をしたいと思います。

【市長】 松山市には防犯灯が全部で3万灯あります。「なぜ松山市で3万灯管理しないの」と言われるかもしれませんが、松山市で3万灯管理しようとするのと対処が遅れるんです。地区の方が日ごろからよく見てくださって、地区の方で管理していただくほうが速く対処ができますよね。ですので、お金をサポートする形にしています。昔と比べるとLEDの照明が増えてきましたが、最初はLEDが高かったんです。3万灯全部替えようとするとなすごくお金がかかってしまいます。今では大分LEDの照明も安くなってきて、古くなったものは全部LEDに取り替えることにしています。LEDの特徴は、明るいし維持管理費が安くなることです。できるだけ明るいLEDの街灯、防犯灯にしようとしていますから、遠慮なく言ってください。

【都市・交通計画課長】 道路照明についてですが、高速道路などを走るときや、街中でも交通量が多いところは明るいと思います。あと、カーブのところも、見通せるように明るくしないといけません。基準があって、その基準に沿ってつけているのが道路の照明です。ただ、道路照明は、非常に光源が強くて明るすぎるということで、例えば、田んぼ付近に道路照明を入れた場合には、ずっと昼間みたいな明るさになってしまって、稲が不作になったりする障害も出ます。その辺を考えながら設置しているのが道路照明ということになります。

【男性】 私は、高知県土佐町の出身です。地元には道の駅があって、そこを通ると、いつもライダーさんなどがたくさんいて、たまに話しかけたりもします。そうすると、ライダーさん同士での情報のやりとりなどがあって、有名なものとか、あそこの何々がおいしいよとかを教えてもらえます。そういう情報交換ができる道の駅のような場所があれば、松山のいいところが周りにも広がるんじゃないかなと思います。

【地域経済課長】 松山市にも北条に風和里（ふわり）という道の駅があって、かなり人気で、朝はすごくにぎわっている状況です。この近くでいうと、JR松山駅の近くにJAさんが経営している太陽市（おひさまいち）もあり、結構にぎわっているのです。そういうところに行かれてみてはどうかかなと思いました。

【市長】 皆さんの学んでいることに直結するかもしれないので申し上げますと、若いときは、一戸建ての家で郊外に住んでいたけれど、年齢が上

がってきて、お堀のあたりのマンションに住まわれるようになる方が多くなっているんですよ。なぜかというと、電車で移動ができるからです。路面電車があるまちは、わずか17しかないんです。全国には約1,700市区町村があるので、そのうちわずか17しか路面電車は走っていないので、実は100分の1都市にしか路面電車はないんです。郡中線、高浜線、横河原線の郊外電車も走っていて、JRも走っています。「昔は、国鉄が走っていたけど、国鉄がないなったんよ」というまちもある中で、すごく公共交通が発達しているのが、松山の特徴です。だっ広いまちじゃなくて、松山はコンパクトにまちの真ん中に集まっているんです。だから、まちの真ん中を生かしていくというのが、これからも松山市の大事な方向性になると思います。なぜ、お堀の周りにマンションが建って、そこに住まわれる方が増えているかというと、高齢になって免許を返上したとしても、電車で移動ができるからです。また、東西南北にバランスよく先人先輩たちのおかげで病院があるというのが、松山の特徴なんです。大きい冷蔵庫と小さい冷蔵庫という考え方があります。大きい冷蔵庫は郊外のショッピングセンターに行って、1週間分のお買い物をして、車に積んで帰ってくるという考え方。小さい冷蔵庫の考え方は、街中でお買い物をして、「今日は何が安いのか」とか「季節の旬なものは何」というような日々の会話も大事にしていく考え方。小さい冷蔵庫の考え方はこれからの世界で大事じゃないかなといわれています。中心部に住む方が増えてくると、お店のにぎわいも出てくるだろうし、中心部を活性化していきたいと思っていますので、そういうこともちょっと意識してもらったらと思います。

【女性】 普段、バイクに乗ることが結構あります。松山市は松山城や道後の観光地がありますが、大きなサイズのバイクを停めるスペースがあまり見当たらないので、ちょっと観光をしたいときに、どこに停めればいいのかと迷ってしまいます。このことに関してお願いします。

【都市・交通計画課長】 まず、大型バイクの駐車場は全国的に不足しています。自転車と原付の駐輪場の整備が進んできたことが一つの理由です。また、250ccやそれ以上の大型バイクの駐車場の必要性に迫られず、まずは車の駐車場をつくっていく時代がありました。その流れできているので、全国的に停めるところが少ないです。いろんな都市で大型バイクを停める駐車場を整備したり、既存の駐輪場に大型のバイクを停められるようにしたり、条例を改正したりしています。基本的に大型バイクは駐車場に停めてもらうのがいいと思いますが、駐車場の経営者に聞くと、バイクが倒れて横に停めている車に傷がつくこともあり結構嫌がられます。その

辺を受け入れてもらえる民間の駐車場や施設を探しているのが今の現状ですので、もうしばらく時間はかかるかもしれませんが、そういうお声は十分受け止めています。

【市長】 花園町通りのパワーポイントをご覧ください。花園町通りは、今、工事をされていて、9月30日から始まる国体までに完成する予定です。松山市の大きな通りは三つあり、市駅前の花園町通りと、JR松山駅の前の大手町通りと、お城の北にある平和通りです。なぜ大きいかというと、戦後復興でできたからです。松山も戦争で焼け野原になりましたが、これから車が多くなる世の中だから、車がたくさん通れる道をつくろうということで、大手町通りと花園町通りと平和通りのような大きな通りができました。今、花園町通りは電車は複線で、車道は2車線ずつあって、イチョウ並木があり、副道があってアーケード商店街があります。でも、車の通行量は半分ぐらいに減っているのです、車道を1車線ずつに縮めて、もっと歩く人や自転車に配慮する空間再編をする予定です。ここにベンチを置いたり、カフェスペースを設けたり、そういう憩いのスペースをつくっていきます。これは、これからの高齢化にも関係していて、歩いてもらうことは健康にもつながりますが、自転車と歩く人が混在して事故になってしまうより、歩きやすい通りのほうがいいですね。自転車道を歩道とはっきり分けるシンボルロードということでやっていきます。花園町通りはもうちょっとででき上がりますので、これからのまちづくりのやり方を見ていただけたらと思います。

【女性】 香川出身ですが、JR松山駅に初めて来たときに、ちょっと寂しいなと思いました。特産物などを使ったお店が並んだらいいなという意見です。

【都市・交通計画課長】 恥ずかしながら、JR松山駅は四国の県庁所在地の駅の中では整備が最後になります。高松はサンポートがありますし、高知駅も高架になっています。JR松山駅は、愛媛県が鉄道を上に上げて、立体化します。踏切がなくなるということです。それで、松山市がその周辺の土地をきれいな区画にしていき、JR四国さんは駅舎を新しくします。広場もどういうふうにするかを、今話しているところですので、今後、特産品を並べることなどについても、少し時間はかかりますが、あわせて検討することになると思っています。

【市長】 今日、こういうものが松山市にできたらいいなというお話もありましたが、せっかくまちがリニューアルするいい機会です。大街道、銀天街と競合して共倒れになるようなことではいけないので、よく考えなが

ら、また皆さんの声もいただきながらJR松山駅をどうするかを、しっかりと考えていきたいと思っています。私たちはできるだけ早く進めたいですが、中には土地を提供していただかないといけない場合もあって、その方々との話し合いですとか、また、工事をしているときに遺跡が出てくることもあります。遺跡が出てくると、遺跡調査をしないといけないですから、ちょっと工事が遅れてしまうことがあります。できるだけ早く進めたいなと思っていますし、皆さんがいい年齢になったころには、本当にきれいな松山駅になるんじゃないかと思います。

【市長】 最後に私から二つお話をさせていただきます。今日、皆さんに冊子をお配りして帰ります。松山のデータが出ているこの冊子をお配りしますが、表紙に「データが語る松山市の暮らしやすさ」とあります。例えば、通勤通学時間の短さが日本一です。通勤通学にかかる時間は愛媛県が全国で1番短く、東京の半分です。東京都は約40分かかります。大阪は32分ですが、愛媛は20分です。仕事の平均時間の短さも日本有数です。仕事の平均時間は愛媛県が6時間37分、東京都6時間54分、大阪府7時間で、愛媛県は全国で2番目に短いです。余暇の時間が長く、愛媛県が6時間1分で、これは全国1位です。東京と比べると、1日あたり50分も余暇の時間が長いです。近所に何でもそろそろコンパクトシティ、暮らしに必要なお店や病院の近さが全国1位です。いずれも1,741の自治体中、松山市が1位。ショッピングセンターへの距離は、全国平均は12.5kmなのに対して、松山市は2.7kmで1番。病院または診療所までの距離は500m。全国平均1.6kmに対して500m。地域でとれた食材の入手のしやすさは、全国平均99.97%に対して124%。住居にかかる費用が安いとか、物価が安いこともこの冊子に出ています。また、松山市は「家族の幸せ度が高い」とか、松山市は「人との関係が良好」とか、松山市は「ママ友の関係が良い」とか、「主婦が幸せに暮らせる街全国5位」とか、こういう松山市のデータを若い方にわかりやすくした冊子です。ぜひ持って帰っていただけたらと思います。最後にもう一つ、若い人でもできるよというお話をさせていただこうと思います。9月30日からえひめ国体が始まります。それにあわせて花園町通りをきれいにしてはいますが、道後温泉別館飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）というのが、えひめ国体の前、たまたま風呂の日ですが、9月26日にオープンします。午前7時オープンです。料金は今の道後温泉本館とあまり変わらず、高いわけではないですから安心してください。道後の商店街を直角に曲がる場所に椿の湯がありますが、その西側の土地を買わせていただいて、敷地面積は今の道後温

泉本館の2.5倍、そこに道後温泉本館と同じぐらいの規模の建物ができます。どうして飛鳥乃湯泉かという話をします。大阪に行ったら太閤の湯とか豊臣秀吉さんの湯とかありますけど、豊臣秀吉さんの湯といたら1500年代の話ですよ。今から500年前の話です。松山の歴史として、聖徳太子さん、厩戸王子（うまやどのおうじ）が西暦596年に道後に来られていて、それは1400年前の話です。女性の帝の斉明天皇（さいめいてんのう）が661年にお越しになっています。皆さん考えてみてください。当時の女性の天皇、日本で一番偉かった人が道後に来ているわけです。近畿から道後に来ているわけですよ。今みたいに1泊2日で、帰りは飛行機で帰れるわけではなくて、舟で何日もかけて来て、松山に何日もいるわけです。そういう場所が道後だったということです。共に飛鳥時代なので、飛鳥乃湯泉。飛鳥時代をモチーフにした外観、これは東京大学の名誉教授の内藤廣先生という方につくっていただいています。男湯は砥部焼の女性作家さんの山田ひろみさんをお願いして、石鎚山をモチーフにした砥部焼でつくった陶板を3面に配します。50人入れます。女湯は瀬戸内をモチーフにした陶板で3面を囲います。この雰囲気浸っていただけます。それと、若い人でもできるんですよという話はこちらです。この飛鳥乃湯泉に鴟尾（しび）というものがあって、これは、奈良時代とかの建物でお寺にもありますが、しゃちほこと一緒に、火除けです。火事防止の意味合いがあるわけですが、これを菊間瓦でつくってくれたのは、菊地晴香さんといって、多分28歳ぐらいの方です。ほかにも、菊間瓦で間接照明、行灯（あんどん）などもつくってもらっていますが、彼女のご家庭は瓦屋さんです。おじいちゃんもお父さんも瓦屋さんで、多分高校を卒業して職人さんになって、まだ10年ぐらいだと思います。60代や70代の職人さんからも、「晴香ちゃんはおええのをつくるんよ」と言われているそうです。職人の世界は感性とかも大事になります。彼女はそういう60代や70代のベテランの方からも認められている人で、彼女がつくった鴟尾が仕上がっています。男性の伝統工芸士さんにも飛鳥乃湯泉に携わってもらっていますが、女性作家さん、また若手作家さんの取り組みをご紹介させていただきました。若いからまだまだというわけではなくて、感性の世界だと思います。努力したらどんどんできる世界だと思いますので、皆さんの頑張りを応援したいなと思っています。今日、皆さんと会うのを楽しみにして来ました。製菓・製パン、調理師、カフェ、コミュニケーション、ドレスフラワー、ブライダルプランナー、ホテルやレストラン。私は前の仕事でもぎたてテレビをやっていたのをご存知の方もいると思いますが、飲食店とかにもいろいろと行かせてもらいました。いろんなこと

も存じ上げています。そして、ブライダルの世界については、司会のこと
もよくわかりますから、本当に皆さんすてきな仕事に就かれる、いい勉強
をしていらっしゃると思います。今日、松山市の取り組みや松山市の将来
の方向性をご紹介しましたが、まさに皆さんが中心になってこれからの松
山市をつくっていく形になります。私たち市役所というところは、市民の
皆さんの役に立つところで市役所だと思っています。「どうせ市役所に言
っても変わらんわい」じゃなくて、言ってもらったらつなぐこともできま
すし、我々も動きます。また、これならできますということを紹介するこ
ともできますので、遠慮なく市役所に言ってもらったらと思います。今日
は長時間にわたりまして、ありがとうございました。

— 了 —